

KL-M7

取扱説明書 (簡易版)

カシオメンバーズサイト会員登録 録のおすすめ

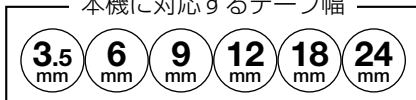
新製品やキャンペーン等の情報をお知らせします。

<https://members.casio.jp/jp/>

- 本書 4 ページの「製品シリアルナンバーについて」もご覧ください。



本機に対応するテープ幅



- ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本書では、本機の基本的な操作方法について説明しています。詳しい操作方法については、以下の URL から「取扱説明書」をダウンロードして、ご覧ください。

<https://support.casio.jp/d-stationery/model/KL-M7/>



取扱説明書

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

取扱説明書について

以下の2種類の取扱説明書をご用意しています。

■「KL-M7 取扱説明書（簡易版）」（本書）

■「KL-M7 取扱説明書」

以下のURL、または右のQRコードから、パソコンやスマートフォンにダウンロードしてください。

<https://support.casio.jp/d-stationery/model/KL-M7/>



あらかじめご承知いただきたいこと

■本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。

■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。

■本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。

https://www.casio.co.jp/csr/environment/recycle_collect/tape/

- ・「eneloop」は、パナソニックグループの登録商標です。
- ・「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。



警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



△記号は、「注意すること」を意味しています（左の例は高温注意）。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。



警告

電池について



電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。



警告

AC アダプターについて



ぬれた手で電源プラグに触れない。

感電の原因となります。



AC アダプターや電源コードが傷んだら、「修理に関するお問合せ先」に連絡する。

そのまま使うと、火災・感電の原因となります。



外出時は、動物・ペットが製品に近づかないようにして、AC アダプターはコンセントから抜く。

ペットが噛んだり、尿がかかると、ショート（短絡）による火災の原因となります。

AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。



- 指定品以外の AC アダプターは絶対に使わない
- AC アダプターを指定の機器以外には絶対に使わない
- 電源は、AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントは使わない
- たこ足配線をしない
- 布団、毛布などをかぶせて使わない、熱器具のそばで使わない
- 重いものを乗せない、電源コードを束ねたまま使わない
- 加熱しない、加工しない、傷つけない
- 無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない

表示画面について



液晶画面は強く押さない、強い衝撃を与えない。
液晶画面のガラスが割れてけがの原因となります。






液晶画面が割れた場合、内部の液体には絶対に触れない。
皮膚に付着した場合は、炎症の原因となります。
口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
目に入ったたり、皮膚に付着した場合は、清浄な水でよく洗い流して、医師に相談してください。




警告


置き場所・使用場所について

-  次のような場所に置かない、使わない。
火災・感電の原因となります。
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
 - ・ 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所
-  ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かない。
落下・転倒時には、けがの原因となります。
-  本機の上に重いものを置かない。
落下・転倒時には、けがの原因となります。


異常（煙、臭い、発熱など）について

-  発煙・異臭、発熱などの異常状態で使わない。落としたときなど破損したまま使わない。
火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。
 1. 電源を切る
 2. ACアダプター使用時は、電源プラグをコンセントから抜く
 3. 「修理に関するお問合せ先」に連絡する

分解・改造しない

-  本機を分解・改造しない。内部の点検・調整・修理は「修理に関するお問合せ先」に連絡する。
感電・やけど・けがの原因となります。



袋をかぶらない、飲み込まない


-  包装に使用している袋で遊ばない。
かぶる、飲み込む、などの行為は、窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。




警告

水・異物は避ける

-  水、液体（スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など）、異物（金属片など）が本機やACアダプターの内部に入らないようにする。もし、入ったら、すぐに次の処置をする。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 1. 電源を切る
 2. ACアダプター使用時は、電源プラグをコンセントから抜く
 3. 「修理に関するお問合せ先」に連絡する
-  本機やACアダプターの上やそばに花瓶など液体の入ったものを置かない。
倒れて、液体がかかると火災・感電の原因となります。

-  雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れない。
感電の原因となります。

電子レンジにラベルを入れない



-  電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らない。
ラベルに使用している材質に金属が含まれています。電子レンジで加熱すると発火ややけどの原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。




注意

電池について


破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。

-  分解しない、ショートさせない
- 充電しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 本機で指定されている電池以外は使わない
-  極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
- 電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する
- 被覆のはがれた電池は使わない


-  電池が液漏れしたまま使用しない。

火災・感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理に関するお問合せ先」に連絡してください。

コネクター部への接続

-  コネクター部に、指定品以外は接続しない。
- 火災・感電の原因となることがあります。

オートテープカッターについて







-  電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に
ケガに 触れない。
注意 オートテープカッターが動き、けがをする恐れがあります。




注意

AC アダプターについて

AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。

-  電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
-  使用後は、電源プラグをコンセントから抜く
-  電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず電源プラグを持って抜く）
-  長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
-  電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように乾いた布で清掃する
-  電源コード（特に電源プラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使わない

高温注意

-  プリンターヘッドおよび周りの金属部分には触らない。
高温になるため、やけどをする恐れがあります。

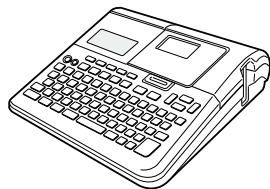
JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

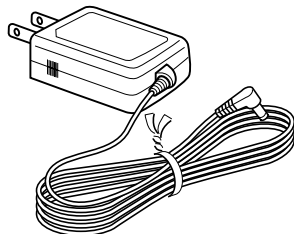
本装置は、VCCI 協会の技術基準（クラス B）に適合しています。

付属品を確認しましょう

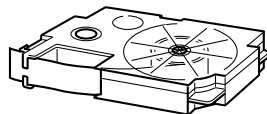
KL-M7 本体



AC アダプター
AD-A12090L



お試用テープカートリッジ
(9mm 幅)



取扱説明書

- アルカリ乾電池、充電池および充電器は商品に付属しておりません。アルカリ乾電池、充電池および充電器は電器店、量販店などで買い求めください。

製品 シリアルナンバーについて

本機の底面に記載されている製品シリアルナンバー（数字とアルファベットの組み合わせ 15 桁）は、カシオメンバーズに新規製品登録の際に必要となります。電源を入れる前に控えておいてください。

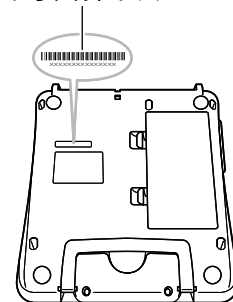
- カシオメンバーズへの会員登録には、別途メールアドレスが必要です。
- 製品の紛失盗難時に“製品の特定”を保証するものではありません。
- カシオメンバーズにつきましては、次のホームページをご覧ください
<https://members.casio.jp/jp/>
- 数字とアルファベットを間違えないようご注意ください。

「0」（ゼロ）と「O」（オー）・「Q」（キュー）、「1」（イチ）と「I」（アイ）、「8」（ハチ）と「B」（ビー）

シリアルナンバー控え

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シリアルナンバー



別売品の最新情報について

以下の URL から「消耗品 / オプション」をご覧ください。

<https://support.casio.jp/d-stationery/model/KL-M7/>



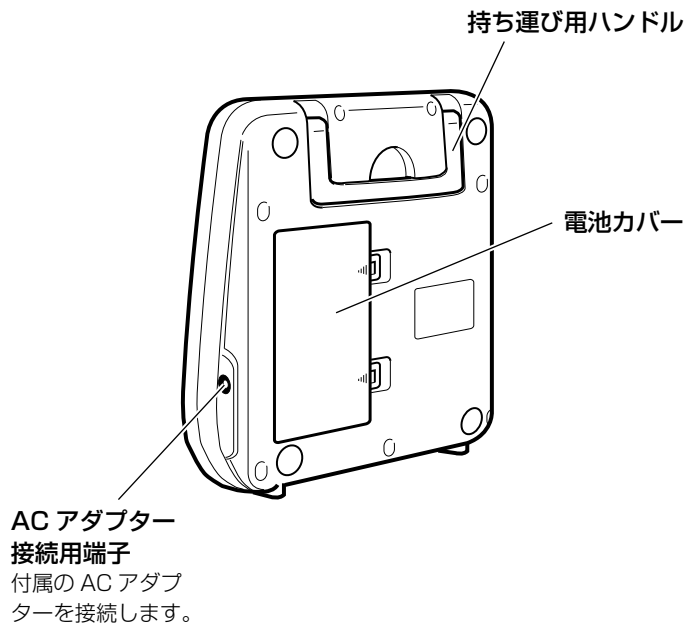
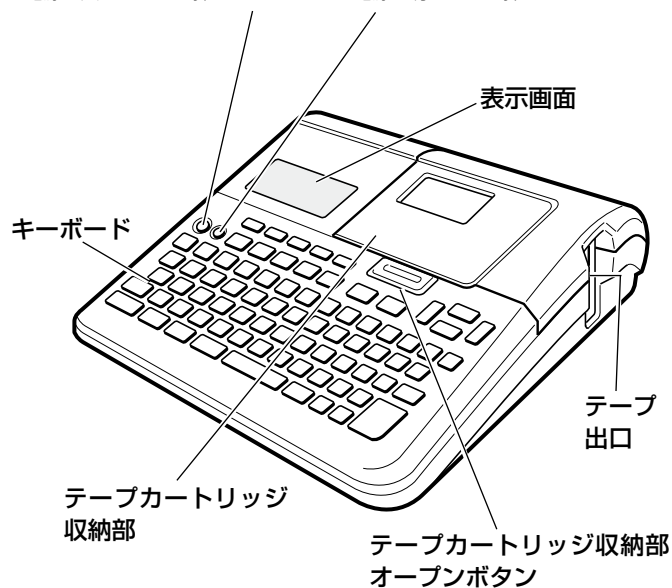
各部の名前とはたらき



電源を入れるときに押します。



電源を切るときに押します。



本機の操作の流れ

AC アダプターを接続する

6 ページ

または電池をセットする

7 ページ

- 購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください。(9 ページ)
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。



テープカートリッジを取り付ける

9 ページ



ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル	14 ページ		
用途別ラベル	20 ページ	デザインロゴ	21 ページ
ナンバリング	21 ページ		



ラベルの内容を作る

文字を入力する	17 ~ 19 ページ
文字を編集する	22 ~ 27 ページ



印刷する

14 ページ

電源について

本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターまたは市販のアルカリ乾電池、推奨の充電式ニッケル水素電池 (eneloop、または充電式 EVOLTA) を使います。

- ご使用前に、「安全上のご注意」(1 ~ 3 ページ) を必ずご覧ください。
- アルカリ乾電池または推奨の充電式ニッケル水素電池を使う場合は、必ず電池の設定を確認してください (8 ページ)。

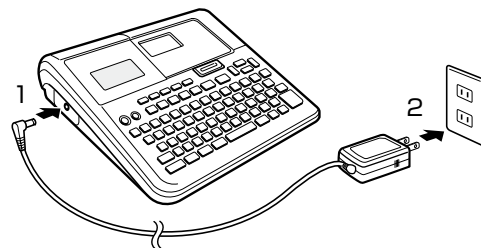
AC アダプターで使う

■取り付ける

重要! • 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。



- 1 AC アダプターのプラグを、本機の AC アダプター接続用端子に差し込みます。
- 2 AC アダプターをご家庭のコンセント < AC100V > に差し込みます。



■取り外す



- 印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、AC アダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

1 コンセントから AC アダプターのプラグを抜きます。

2 本機の AC アダプター接続用端子から AC アダプターのプラグを抜きます。

■電池で使う

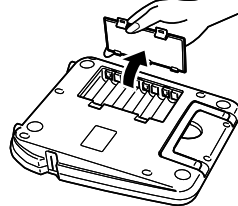
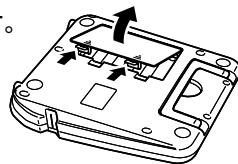
市販の単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形充電式ニッケル水素電池 (eneloop、または充電式 EVOLTA) を 8 本使用します。(必ず 8 本とも同じ種類の電池を使用してください。)

■充電式電池について

- 充電電池を使う場合は、パナソニックグループ製の単 3 形 eneloop (エネルーブ) または、パナソニック株式会社製の単 3 形充電式 EVOLTA (エボルタ) をご使用ください。これ以外の充電電池は使用しないでください。
- 充電電池の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。
- 充電電池は、本機にセットしたままでは充電できません。
- eneloop、充電式 EVOLTA、および各充電電池専用の充電器を使用する場合は、各製品に付属の取扱説明書や注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

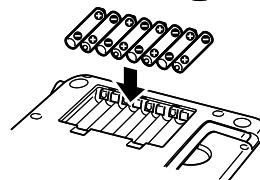
■電池をセットする

- 1** 本体裏側の電池カバーを取り外します。
電池カバーに無理な力 (逆に曲げるなど) を加えないでください。故障の原因となります。

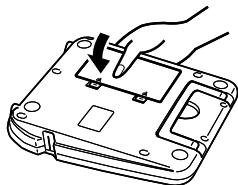


- 2** 電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 電池カバーを取り付けます。



- 電池は、必ず8本とも新品の単3形アルカリ乾電池、または満充電にした単3形充電式ニッケル水素電池(eneloop、または充電式EVOLTA)を使用してください。指定以外の電池を本機に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。
- 単3形充電式ニッケル水素電池(eneloop、または充電式EVOLTA)を使用する場合は、電池の設定を「充電式ニッケル水素」にしてください(8ページ)。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、ACアダプターや電池を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池をセットした状態」で、ACアダプターを抜き差しするときは、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに抜き差しをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

■電池の設定をする

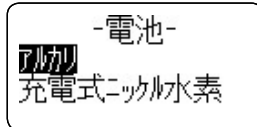
アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(eneloop、充電式EVOLTA)のどちらを使うかを設定します。

ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後は、アルカリ乾電池を使う設定になっています。

- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

1 **機能**を押し、指を離してから**8め**を押します。

2 **↑****↓**を押して**電池**を選び、**実行**を押します。



3 **↑****↓**を押して**充電式ニッケル水素**を選び、**実行**を押します。

「アルカリ」を選んで**実行**を押すと、アルカリ乾電池を使う設定に戻ります。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは $\text{\textcircled{A}}$ を押すだけで本機を使うことができます。

重要 $\text{\textcircled{手}}$ メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

- 1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、 $\text{\textcircled{切}}$ を押します。
- 2 $\text{\textcircled{印刷}}$ と $\text{\textcircled{空白}}$ をいっしょに押しながら、 $\text{\textcircled{A}}$ を押します。
 $\text{\textcircled{印刷}}$ と $\text{\textcircled{空白}}$ をいっしょに押し続けたまま、 $\text{\textcircled{A}}$ から指を離します。
- 3 $\text{\textcircled{印刷}}$ と $\text{\textcircled{空白}}$ から指を離します。
「メモリー初期化? 実行/取消し」が表示されます。
- 4 $\text{\textcircled{実行}}$ を押します。

重要 $\text{\textcircled{手}}$ メモリーの初期化をした後は、必ず電池の設定を確認してください(8ページ)。

メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。

また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

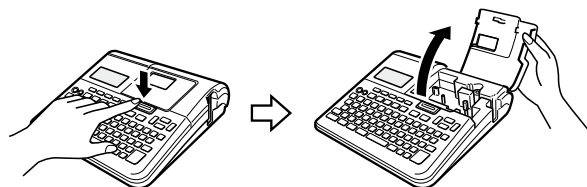
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・18mm・24mmです。

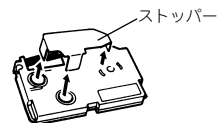
・テープカートリッジについては、以下のURLをご覧ください。
<https://support.casio.jp/d-stationery/model/KL-M7/>

テープカートリッジを取り付ける

- 1 $\text{\textcircled{切}}$ を押して、電源を切ります。
- 2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。



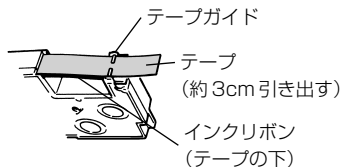
- 3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



重要 $\text{\textcircled{手}}$ ・ストッパーを取り外すときは、真上に持ち上げるようにゆっくりと引き上げてください。無理に引っ張ると、ストッパーの一部がちぎれてテープの軸に残り、テープの回転不良(印刷不良)の原因となります。

4 テープとインクリボンの状態を確認します。

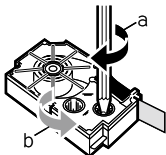
- テープの先が曲がっていない (曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする)
- テープの先がテープガイドを通っている
- インクリボンがたるんでいない



- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
- インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。このとき、テープはいっしょに動きません。

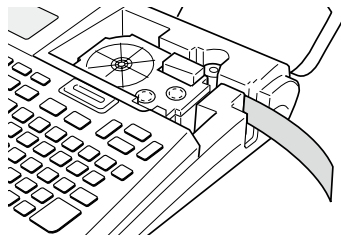
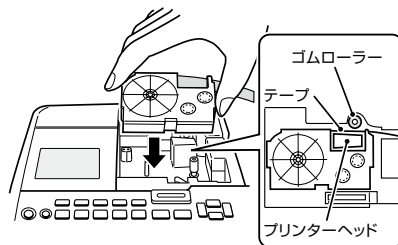


5 テープカートリッジをセットします。

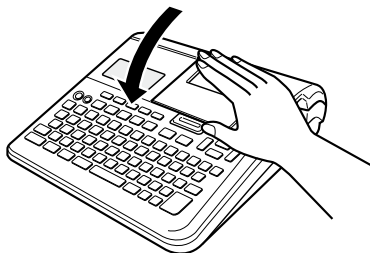
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます (下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。



重要! 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



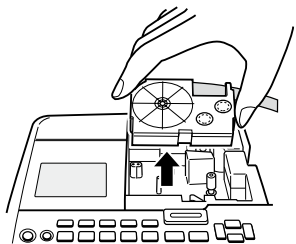
6 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



- ・カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- ・テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外すときは

テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

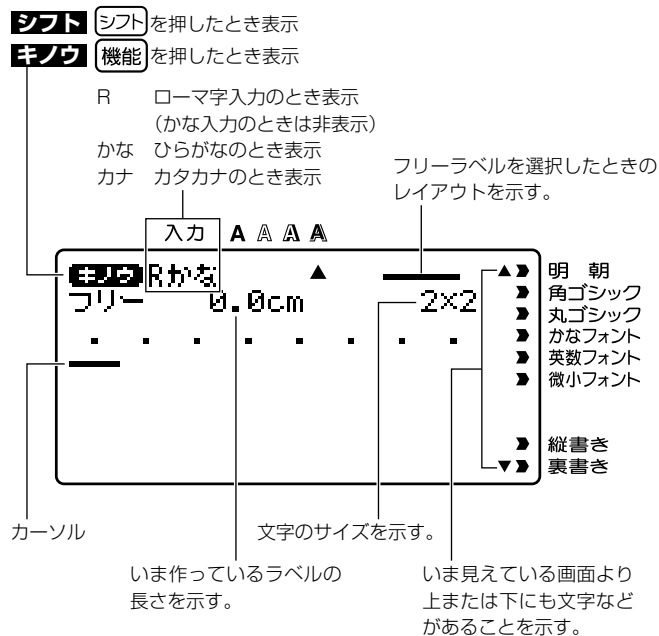


16	無変換 <small>カタカナ変換</small>	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 ・入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
17	単漢字	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
18	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
19	機能	キーの上下または横に 機能 と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
20	シフト	・かな入力するとき、「つ」や「よ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(17ページ) ・アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。
21	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
22	(テープ長さダイレクト設定キー)	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。

- 重要** **機能**と**シフト**の操作には、以下の2つの方法があります。
- 機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す。
 - 機能** (**シフト**) を押しながら目的のキーを押す。
- ・本書の操作説明は、「**機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。



まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。ここでは自由に入力してラベルを作る（フリーラベル）方法について説明します。

[印刷例]

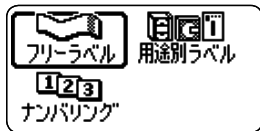
営業レポート

■ラベルの内容を作成する

1 **入**を押して、電源を入れます。



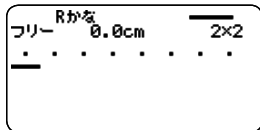
2 **上****下****左****右**を押して「新規」にし、**実行**を押します。



3 **上****下****左****右**を押して作りたいラベルの種類を選び、**実行**を押します。

ここでは「フリーラベル」を選びます。

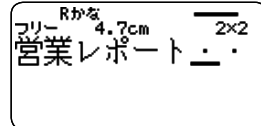
- フリーラベルで入力できる文字数は、127文字です。



4 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、17ページをご覧ください。
- ひらがなを漢字に変換したときは、最後に**実行**を押して確定してください。

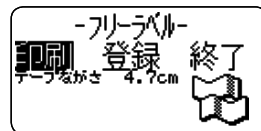


■印刷する

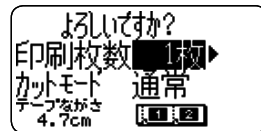
作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。


- ご使用前に、「安全上のご注意」の「オートテープカッターについて」（3ページ）を必ずご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さとは完全には一致しません。



1 文字を入力したら、**実行**を押します。






2 **印刷**になっていることを確認して、**実行**を押します。



3   を押して、印刷する枚数を指定します。
ここでは「1 枚」にします。


-  を押すと数字が減り、 を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100 枚まで指定できます。0 枚を指定することはできません。


4  を押します。

5   を押して、カットモードを指定します。

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープ・熱収縮チューブをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、16 ページをご覧ください。


6  を押します。
印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、 を押します。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(5 ページ)
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、 を押して印刷を中止してください。
- テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- 1 度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

「印刷準備中」と表示されたときは

黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷したりすると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するために「印刷準備中」が表示され、印刷を開始しないことがあります。プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を開始しますので、そのまましばらくお待ちください。

カットモードについて (オートカッター)

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機の cutter でカットすると cutter 部分が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

- 下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

• 自己粘着テープ • 布転写テープ • インスタントレタリングテープ	特殊テープ
• マグネットテープ • 反射テープ • アイロン布テープ • 熱収縮チューブ	カットしない

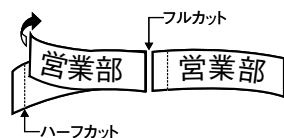
■ 4つのカットモード

カットモードは下記の4つがあります。

- 通常
 - 切り離す
 - 特殊テープ
 - カットしない
- カットモードは、「■印刷する」(14ページ)の手順5で設定します。
• 書式で「余白 送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。

カットのしかた

「フルカット」と「ハーフカット」の2つがあります。

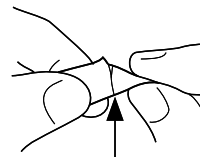


ラベルを貼る

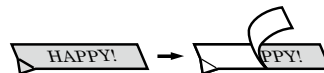
1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

- ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっくりとひねるようにして、テープを台紙からはがします。



- フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



- 一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

重要 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。



- 直射日光や雨が当たるもの
- 人や動物の体
- 他人の家の塀や電柱など
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは

- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
- 特殊なプラスチック材料 (シリコン系・PP 材など)

入力する文字の切り替え方法

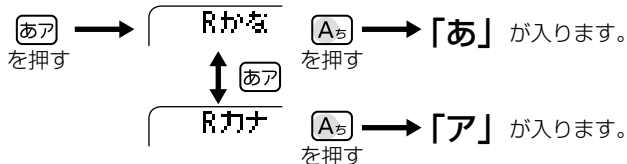
文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。
あアや**aA**を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。ここでは**A**を例にとって、説明します。

ローマ字入力とかな入力を切り換える

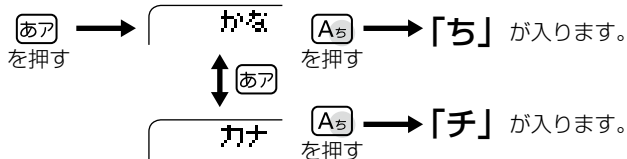
機能を押し、指を離してから**あア**を押す
ローマ字/かな

ひらがな・カタカナの入力

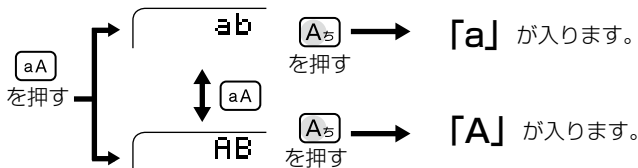
■ローマ字入力の場合



■かな入力の場合



アルファベット (大文字・小文字) の入力



文字の入力について

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	[I] [T] [T] [A]	[E] シフト [Z] [Q] *
拗音	きょう	[K] [Y] [O] [U]	[G] シフト [9] [4] *
濁音	ぼく	[B] [O] [K] [U]	[H] [H] [H]
半濁音	ぱぱ	[P] [A] [P] [A]	[F] [F] [F] [F]
句点	。	[.]	シフト [.]
読点	,	[,]	シフト [,]
長音	ー	[_]	[_]
中点	・	シフト [.]	シフト [.]
を		[W] [O]	シフト [O]
ん		[N] [N]	[Y]
ヴ		[R] [V] [U] または [V] [U]	[K] [4] [H] または [4] [H]
カ		[X] [K] [A] または [K] シフト [A]	シフト [T]
ケ		[X] [K] [E] または [K] シフト [E]	シフト [:]
空白		[]	[]

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
			QU		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
さ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
		SHI			
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
			FU		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や		ゆ	い	え
	YA		YU	YE	YO

ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	あ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん				
	NN, N +子音				
	MP +母音, MB +母音				
きゃ行	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ行	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ行	くぁ	くい		くえ	くお
	QA	QI		QE	QO
くわ行	くわ	くい	くう	くえ	くお
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐわ行	ぐわ	ぐい	ぐう	ぐえ	ぐお
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ		しゅ	しえ	しよ
	SYA		SYU	SYE	SYO
	SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ行	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ちゃ行	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ行	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

つぁ行	つぁ	つい		つえ	つお
	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ行	てゃ	てい	てゅ	てえ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ行	でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ				とぅ	
				TWU	
どぅ				どぅ	
				DWU	
にゃ行	にゃ	にい	にゅ	にえ	によ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ行	びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

ふぁ行	ふぁ	ふい		ふえ	ふお
	FA	FI		FE	FO
ふゃ行	ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふよ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶゃ行	ぶゃ	ぶい	ぶゅ	ぶえ	ぶよ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みゃ行	みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶぁ行	ぶぁ	ぶい	ぶ	ぶえ	ぶお
ヴぁ行	ヴぁ	ヴィ	ヴ	ヴエ	ヴオ
	VA	VI	VU	VE	VO

・カタカナを入力する場合は、[あア]を何回か押して、画面左上に「Rカナ」表示させてから入力してください。

小文字（拗音・促音）

あ XA シフト+A	い XI シフト+I	う XU シフト+U	え XE シフト+E	お XO シフト+O
ゃ XYA シフトA	ゅ XYU シフトU	ょ XYO シフトO	わ XWA シフトA	

つ XTU, XTSU, LTU シフトU, TSシフトU	カ XKA シフトA	ケ XKE シフトE
-------------------------------------	------------------	------------------

・N以外の子音を2度入力しても「っ」や「っ」になります。

文字を修正・削除するとき

文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

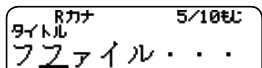
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を1文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

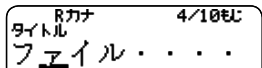
[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 <>を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



Rカナ 5/10
タイトル
フファイル...

2 文字削除を押します。
「ファイル」になります。

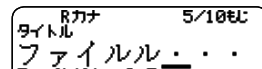


Rカナ 4/10
タイトル
ファイル...

■カーソルの前の文字を消す

[例] 「ファイル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

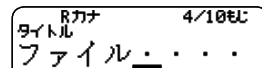
1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



Rカナ 5/10
タイトル
ファイルル...

2 後退を押します。

「ファイル」になります。



Rカナ 4/10
タイトル
ファイル...

通し番号のついたラベルを作る (ナンバリング)

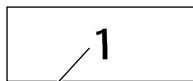
ページ番号や通し番号がついたラベルを作る (連番印刷) ことができます。

重要! 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。



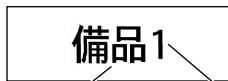
ナンバリングの種類

• フォーマット 1



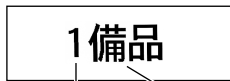
ナンバー

• フォーマット 2



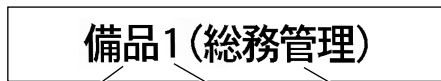
コメント(50文字まで) ナンバー

• フォーマット 3



ナンバー コメント(50文字まで)

• フォーマット 4



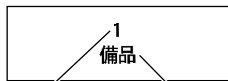
コメント1(50文字まで) ナンバー コメント2(50文字まで)

• フォーマット 5



ナンバー コメント(50文字まで) ナンバー コメント(50文字まで)

• フォーマット 6



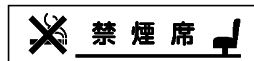
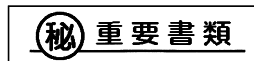
ナンバー コメント(50文字まで) ナンバー コメント(50文字まで)

- 印刷するたびに、“ナンバー” が一つずつ繰り上がっていきます。
- 上の例は 18mm 幅テープで作成しました。

ロゴ入りのラベルを印刷する (デザインロゴ)

オフィス、工場・建設などの現場、家庭などでよく使う表現を選ばず、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。

[印刷例]



- デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm、24mm 幅のテープです。

デザインロゴ印刷時の大きさ

(サイズはいずれも 縦 × 横 で記載)

	24mm / 18mm 幅				12mm 幅				9mm 幅 以下
	倍率 (%)*		データの大きさ		倍率 (%)*		データの大きさ		
	縦	横			縦	横			
小	120	90	12 × 41mm		100	80	10 × 36mm		(不可)
中	120	120	12 × 54mm		100	100	10 × 45mm		(不可)
大	120	150	12 × 68mm		100	120	10 × 54mm		(不可)


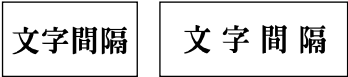

※倍率 (%) は、【12mm幅 / 中】で印刷したロゴ (上記の印刷例) を基準とした、縦横比の違いとなります。

詳しくは、ホームページで公開している取扱説明書をご覧ください。







ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。








■設定できる内容

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 
文字割付	文字のバランス（左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）を決めます。
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。 
裏書き	 <ul style="list-style-type: none">・布転写テープカートリッジ（別売）を使用してハンカチやTシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。・アイロン布テープ（別売）を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。・テープ色が透明なテープカートリッジ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。

■フリーラベルで書式を設定する

- 1 文章を入力します。
- 2  を押します。
- 3     を押して各項目を設定します。
- 4 各項目を設定したら、 を押します。

■用途別ラベルやナンバリングで書式を設定する

- 1 文章を入力します。
- 2  を押します。
- 3   を押して「方向」「裏書き」または「余白」を選び、 を押します。
- 4   を押してお好みの項目を選び、 を押します。










ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の2つがあります。

- ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。
 - CD / DVD ケース・ファイル用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長さダイレクト設定キー）。
- ・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さとは完全に一致しません。

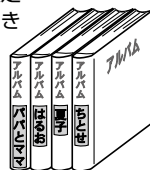
ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

- 1 文字を入力します。
- 2  を押します。
- 3   を押して、「テープ長」を画面に表示させます。
- 4   を押して、「テープ長 固定」にし  を押します。
- 5 数値キーまたは （減）・（増）を押して、ラベルの長さを設定します。
- 6  を押します。

CD/DVDのケース・ファイル用のラベルなどを簡単に設定する（テープ長さダイレクト設定キー）

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CD や DVD のケース、ファイル用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定
しないとき






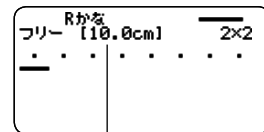
テープ長さダイ
レクト設定キー
を使うと…



ラベルの長さ
を同じにでき
ます！

【例】 CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

- 1  を押します。
 を押すと長くなり、 を押すと短くなります。




長さが 10.0cm に変わります。

2 行以上のラベルを作る

2 行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

【印刷例】 顧客リスト (18mm 幅テープ)
最新版


- 1 行目（顧客リスト）を入力します。
- 2 を押します。
- 3 2 行目（最新版）を入力します。

■テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm/ 24mm
最大印刷 可能行数	標準フォント	—	1 行	1 行	2 行	3 行
	微小フォント*	1 行	2 行	3 行	5 行	6 行
最大“縦” 倍率	標準フォント	—	1 倍	2 倍	3 倍	4 倍
複数行のときの縦 倍率の合計	標準フォント	—	—	—	2 まで	3 まで
	微小フォント*	—	2 まで	3 まで	5 まで	6 まで

※微小フォントについて















- 行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。
- このとき、画面右の「微小フォント」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです（ジャストフィット印刷）。
ここではジャストフィット印刷ではなく、文字の大きさを選択して決める方法を説明します。

文字単位で「1 × 1」～「4 × 4」倍まで文字サイズを選択できます。
テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります。

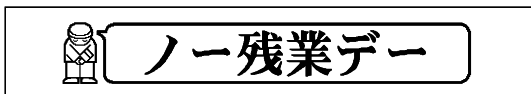
1 × 1 2 × 3 4 × 4
禁煙 禁煙 禁煙


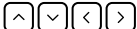

- 1 文字を入力します。
- 2 を押し、指を離してから を押します。
- 3  を押して、「縦」の倍率を設定します。
- 4 を押して、「横」の倍率を反転させます。
- 5  を押して、「横」の倍率を設定し、を押します。
- 6  を押して、大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、を押します。
- 7  を押して、大きさを変える最後の文字にカーソルを合わせ、を押します。

フレームを付ける



フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。

[印刷例]

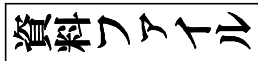


- 1 文字を入力します。
- 2  を押します。
- 3  を押して使うフレームを選び、 を押します。

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（14 ページ「印刷する」の手順 1 の画面）表示中に  を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷






縦横同時印刷



縦書き（1 枚目）、横書き（2 枚目）がセットで印刷されます。

- ・フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定（22 ページ）で「縦書き」を設定してください。

- 1 文字を入力します。
- 2  を押します。
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、 を押し、指を離してから  を押します。

■「第 17 期決算報告書」などのラベルの作り方

[印刷例]

第 17 期決算報告書

- ・「17」などは、記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、ホームページで公開している取扱説明書をご覧ください。

書体（フォント）を変える

入力済みの文字の形（書体）を、和文 3 書体・かな 8 書体・英数 12 書体の中から選ぶことができます。

入力済みの文字の書体を変える

[例] ヒーリング *MUSIC* 集

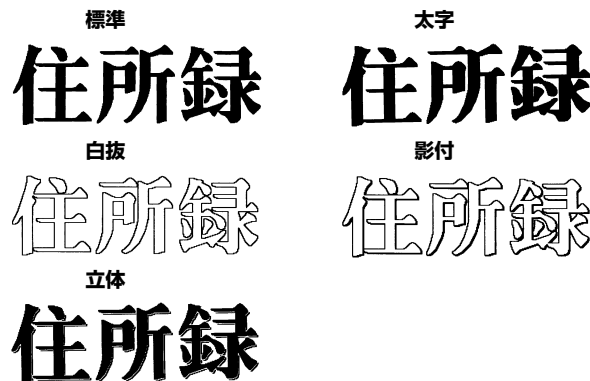
（「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスク립トにする）

- 1 文字を入力します。
- 2 を押します。
- 3 を押して、和文書体を選び、 を押します。
- 4 を押して、かな・英数書体を選び、 を押します。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。

・絵文字は、文字体の指定はできません。



- 1 文字を入力します。
- 2 を押し、指を離してから を押します。
- 3 を押して文字体の種類を選び、 を押します。

文字に飾りをつける


文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。

網 掛	下 線	枠 付
修飾	修飾	修飾

- 1 文字を入力します。
- 2 を押し、指を離してから を押します。
- 3 を押して文字修飾の種類を選びます。
- 4 を押して手順3で選んだ文字修飾の「なし / あり」を選び、 を押します。

こんなときは (トラブルシューティング)

症状	考えられる原因	ご確認ください
●正しく終了するが何も印刷されない	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
●印刷が不鮮明になった	プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している	クリーニングをしてください。
●印刷がきれいにできない	インクリボンのたるみによるしわが発生した	インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。(9ページ)
●印刷が薄い	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	電池が消耗している	付属の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池(別売)と交換してください。充電電池を使用している場合は、充電してください。
	印刷濃度が適切でない	印刷濃度を調節してください。(ホームページで公開している取扱説明書をご覧ください。)
●印刷されない ●印刷中に電源が切れる ●印刷中に「しばらくお待ちください」と表示された後、電源が切れる	電池が消耗している、または指定以外の電池・ACアダプターを使用している	付属の AC アダプターをご使用になるか、新しい電池(別売)と交換してください。充電電池を使用している場合は、充電してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●文字が入力できない	機能 を押した状態になっている	取消し を押して、文字が入力できる画面にします。
●目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「ょ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	あ を押して変更してください。(17ページ)
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、リボンを巻き取ってください。そのあと正しくセットし直してください。(9ページ) 重要  ・テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみを取ってください。 ・インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● テープが切れない	テープカッターが摩耗している	「修理に関するお問い合わせ先」に連絡して交換してください。(32 ページ)
	テープ出口にテープが詰まっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。
	書式の余白が、「送り無し」に設定されている	「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定してください。(22 ページ)
	カットモードを「カットしない」に設定している	「カットしない」以外に設定してください。(16 ページ)
	ラベルの長さが短い (余白小で約 28mm 以下 余白中で約 35mm 以下 余白大で約 45mm 以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
● ハーフカットができない	ハーフカッターが摩耗している	「修理に関するお問い合わせ先」に連絡して交換してください。(32 ページ)
	カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している	カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。(16 ページ)
	ラベルの長さが短い (余白小で約 28mm 以下 余白中で約 35mm 以下 余白大で約 45mm 以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
● ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(16 ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。(16 ページ)

エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処
指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか？ 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 → 実行 を押してください。 印刷しない場合 → 取消し を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を自動にする」などの操作をしてください。
しばらくお待ちください (その後電源が切れる)	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗している、または指定以外の電池・ACアダプターを使用している場合 → 付属のACアダプターをご使用になるか、新しい電池（別売）と交換してください。充電電池を使用している場合は、充電してください。
テープエラー テープカートリッジが不適合です	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 → カバーをしっかりと閉めてください。 印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適合な場合 → 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。 電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合 → 電源を切って、テープカートリッジを交換してください。
テープエラー テープカートリッジを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> テープカートリッジが装着されていない。または、装着方法が誤っている場合 → テープカートリッジを正しく装着してください。

メッセージ	原因と対処
プリントエラー テープカートリッジを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> 印刷中に、テープが詰まった場合 → 電源を切ってテープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。 オートテープカッターに異物がはさまった場合 → 電源を切ってテープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。 ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 → ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 テープカートリッジ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 → テープカートリッジ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。 <p>上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ先」にお問い合わせください。</p>

仕様

形式 : KL-M7

入力

キー配列 : JIS 配列準拠
入力方法 : ローマ字入力、JIS かな入力
変換方式 : 熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数 : 熟語変換 約 88,000 語
単漢字変換 約 13,000 語

文字種

5,640 文字

漢字 : 4,166 文字
JIS 第 1 水準 2,965 文字
JIS 第 2 水準 1,201 文字
ひらがな : 83 文字
カタカナ : 86 文字
数字 : 10 文字
アルファベット : 52 文字
ギリシア文字 : 48 文字
ロシア文字 : 66 文字
記号 : 425 文字
絵文字 : 704 文字

印刷

印字密度 : 200dpi
印刷方式 : 熱転写方式
印字速度 : 約 10mm/秒
最大印刷幅 : 約 12mm

- a) 2mm (テープ幅 3.5mm)
- b) 4mm (テープ幅 6mm)
- c) 7mm (テープ幅 9mm)
- d) 10mm (テープ幅 12mm)
- e) 12mm (テープ幅 18mm/24mm)

•印字速度は印字環境、条件等により異なります。

電源・その他

動作用電源 : AC アダプター (AD-A12090L)

家庭用 100V 電源使用
単 3 形アルカリ乾電池 (8 本・市販品)
単 3 形 eneloop (8 本・市販品)
単 3 形充電式 EVOLTA (8 本・市販品)

定格消費電流 : 750mA (9W)

オートパワーオフ : 約 6 分

大きさ : 幅 202mm × 奥行 216mm × 高さ 64.5mm
(足含む)

質量 : 約 750g (電池含まず)

使用温度 : 10℃～35℃

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2